

- 1 課題名 関東・東海海域における沿岸海況の短期予報研究
- 2 区分 受託
- 3 期間 平成17年度～平成19年度
- 4 担当 企画情報部（御所豊穂）
- 5 目的

広い海域の水温分布を知る手段として、人工衛星画像は既に多くの機関で利用されている。しかし、曇りや雨の日が続くと、対象海域の水温分布図が全く得られないという欠点があった。

そこで、千葉、東京、神奈川、静岡、三重、和歌山で共同研究を行い、雲の影響をうけずに海域全体の水温分布を把握、図示するシステムを開発した。各都県の担当による輪番で平成19年度には試行版を毎平日作成した。

6 成果の要約

- (1) 高精度海況図（関東・東海海況速報）の発行作業のためのシステム、ソフトの使用方法を習得した。試行版は7月上旬と1月上旬を担当し、合計26号を作成した。
- (2) 6月、9月、12月、2月の検討会に出席し、平成20年度からの運用にむけて必要な事項について検討、改善を行った。

7 成果の取り扱い

(1) 成果の普及

高精度海況図は広域カラー版（図1）、紀伊水道カラー版（図2）、携帯電話対応版についてカツオ漁場探索マップのHPから閲覧、ダウンロードできるようにした。広域白黒版については希望者にファックス送信を行った。

- (2) 成果の発表  
成果報告会

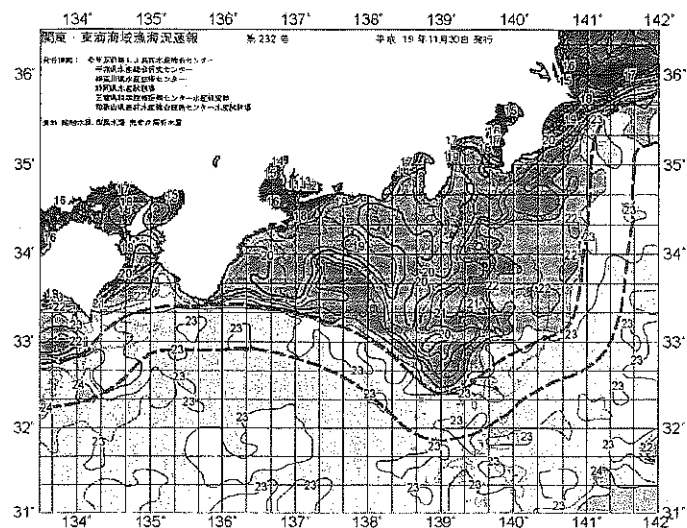


図1 高精度海況図広域カラー版の事例

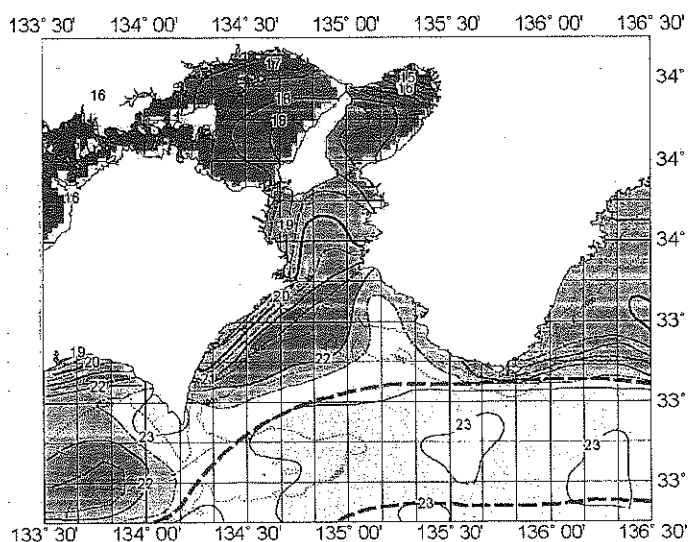


図2 高精度海況図和歌山県カラー版の事例